



Web Fairy Paradise

第37号

今月のフェアリー詰将棋

- ・ 第34回WFPフェアリー作品展
- ・ 第46回推理将棋出題

結果発表

- ・ 第45回推理将棋出題

読み物

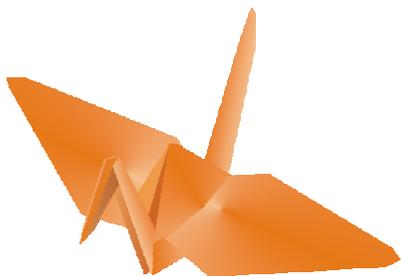
- ・ 第27回詰将棋全国大会の部分的なレポート

がんばろう！日本



2011/7

はじめに



詰将棋全国大会が7月17日に高槻市総合市民交流センターにて開催されました。参加者は120名とのことで大盛況だったようです。参加者名簿が無いので全ては分かりませんが、スタッフとして参加の山田さん、今回レポートを書いていた七郎さん、推理将棋でおなじみNAOさん、最悪詰の雄・真Tさんといったフェアリストの皆さんも参加されていたようです。「新約・神詰大全」も会場で七郎さんが販売されなんと開始前に売り切れるという素晴らしい売れ行きでした。もちろん付録のマイクロコスモスの世界の効果は絶大だったのでしょう。サインはどうなったのか？それがちょっと気になります（笑）

来年は長野での開催となります。

長野の真Tさんのコメント「長野の全国大会でのミニ解答選手権はフェアリーも視野にいれて・・・」

来ましたねえ～看空さんや洞江さんにも会えますし、これは来年是非とも行かないといけませんね。バドの大会と日程が重ならないことだけを祈るしかありません。

お楽しみの出し物はIsardamばか詰5手早解き競争なんてマニアックでいいですねえ。でもヒンシュク買うのは間違いなさそう（笑）最低ばか詰、安南ばか詰くらいかな。でもその解答選手権でもいのでつさんには勝てない気がしますねえ。

【募集】

作品

フェアリー作品、PG、推理将棋はそれぞれの投稿先へ投稿下さい。

読み物

フェアリー詰将棋に関するものに限らず日常のことも研究物でも4コマ漫画からパロディ、イラスト、マイベスト10、自己紹介、何でもOKです。

感想

第37号の感想、今後の要望、ご意見等なんでも結構です。是非メールにて私まで皆様の反応が私の意欲に成りますので是非ご協力をお願いします。

読み物、感想の投稿はこちらまで

たくぼん：takuji@dokidoki.ne.jp

協力いただいている方々のHPアドレス

* ご協力感謝します

妖精都市

<http://www.geocities.jp/cavesfairy/>

詰将棋メモ

<http://toybox.tea-nifty.com/>

詰将棋おもちゃ箱

<http://www.ne.jp/asahi/tetsu/toybox/>

Onsite Fairy Mate

<http://www.abz.jp/~k7ro/>

K.Komine's Home Page

<http://19900504.web.fc2.com/index.html>

イラスト・素材提供：幻想素材サイトFirst Moon

<http://www.first-moon.com/>

* 表紙のイラストを使用させて頂いております。

まえがき & 今回の出題について

今回は個人的に嬉しく思った事柄を取り上げさせて戴きます。この原稿を執筆中の7月14日に「おもちゃ箱」で吉田京平氏の作品（385手詰）の結果発表がありました。これは昨年11月に詰パラで発表された同氏作（167手詰）と同じく「桂ではがしを行う龍追い」を主題とした作品です。

この主題は筆者が2009年8月に詰パラで発表した『「古時計」「古時計II」の研究』という論考の中で「演習問題」として提示したものです。「龍以外ではがしを行う龍追い」は「香ではがしを行う龍追い」（広沢芳香氏作「古時計」及び「古時計II」）、「角ではがしを行う龍追い」（糟谷祐介氏作「カミトチル」）の2種ありましたが、「桂ではがしを行う龍追い」はなかったもので、この論考の中で創作を呼びかけたのです。実際にこの呼びかけに応える作品が出現したおかげで、これが単なる「理屈の上の話」から「具体的な作例を伴う一分野」になりました。吉田氏がこの論考をただの読み物に終わらせず、具体的な成果に結び付けてくださったことを、とても嬉しく思います。

かつて湯村光造氏が打歩詰手筋の分類を行い、その手筋リストの「空白」部分に当たる作品が作られたり、手筋リストに追加すべき新しい手筋が発見されたことがありました。こうした手法は、他の分野にも適用可能なはずで、詰将棋の手筋や構想は、個人個人が研究し、「作品」の形になって初めて公開されるのが主ですが、一人の頭で考えられることには限界があります。特に長編では単発のアイデアで作品を作るのが難しく、創作に時間が掛かることが多いので、自分の持っている課題を整理して公開し、複数の人間の頭脳である分野の開拓を進める（合作や競作とは異なる）課題共有型の研究がもっと試みられて良いと思います。

さて、今回は神無太郎氏から大量の投稿を戴きました。ルールもすべて「スタイルメイト」絡みなので、「スタイルメイト特集」と「個展」を実施したいと思います。

なにぶん作品数が多いので、少し変則的ですが、出題をAコースとBコースの2つに分け、別々の締め切りを設けることにしました。結果発表の方もAは来月、Bは再来月となります。もちろん、余裕があればBの解答を前倒しで送ってくださっても構いません。その分来月の作品展の解図が楽になると思います。

解答要項

Aコース解答締切：2011年8月15日（月）
Bコース解答締切：2011年9月15日（木）

宛先：janacek789@ybb.ne.jp

メールの件名に「解答」の語句を入れて下さい。

作品投稿について

作品投稿は随時受け付けます。（原則として毎月15日の投稿まで当月号に掲載します。）宛先は解答と同じjanacek789@ybb.ne.jpへ。メールの件名に「作品投稿」の語句を入れてください。

ルール説明

【協力自玉スタイルメイト】

先後協力して最短手数で攻方をスタイルメイトにする

【スタイルメイト】

王手は掛かっていないが合法手のない状態

【対面】

敵駒と向かい合うと互いに利きが入れ替わる

【安北】

味方の駒が縦に並ぶと、下の駒の利きは上の駒の利きになる

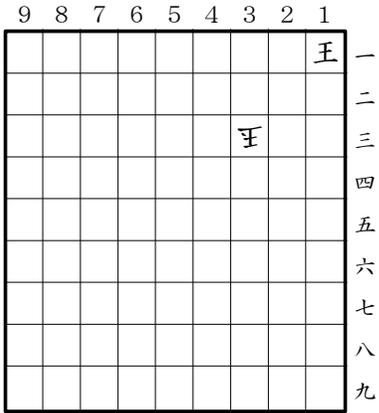
【安南】

味方の駒が縦に並ぶと、上の駒の利きは下の駒の利きになる

《Aコース》

■ 34A-1 神無太郎氏作

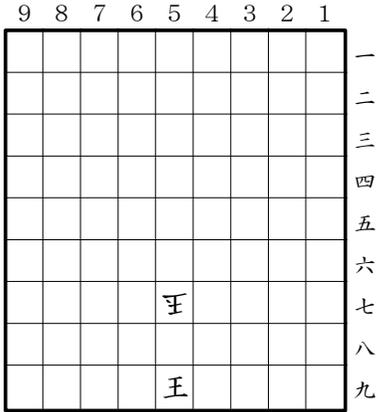
対面協力自玉スタイルメイト 4手



持駒 桂

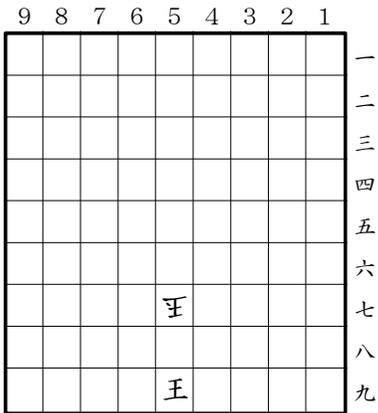
■ 34A-2 神無太郎氏作

a) 対面協力自玉スタイルメイト 4手



持駒 桂2

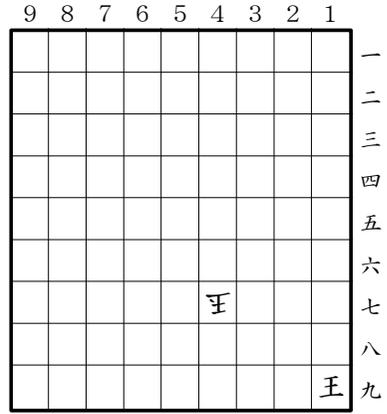
b) 対面協力自玉スタイルメイト 4手



持駒 角2

■ 34A-3 神無太郎氏作

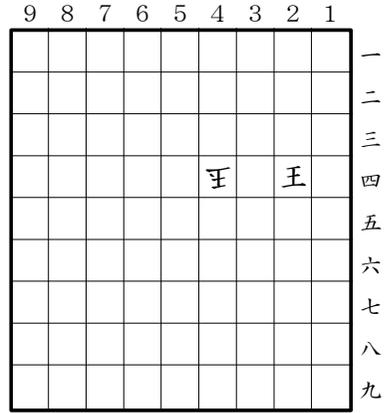
対面協力自玉スタイルメイト 8手



持駒 桂

■ 34A-4 神無太郎氏作

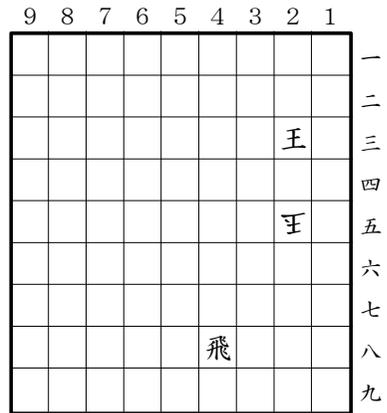
対面協力自玉スタイルメイト 10手



持駒 角

■ 34A-5 神無太郎氏作

対面協力自玉スタイルメイト 10手



持駒 なし

■ 34A-6 神無太郎氏作

対面協力自玉スタイルメイト 12手

9 8 7 6 5 4 3 2 1

										一
								王		二
										三
								王		四
										五
										六
										七
										八
										九

持駒 金

■ 34A-7 神無太郎氏作

協力自玉スタイルメイト 20手

9 8 7 6 5 4 3 2 1

										一
										二
										三
										四
										五
										六
								王		七
										八
									王	九

持駒 桂4 香4



《Bコース》

■ 34B-1 神無太郎氏作

安北協力自玉スタイルメイト 14手

9 8 7 6 5 4 3 2 1

										一
										二
										三
										四
										五
										六
									王	七
										八
								王		九

持駒 桂3 香2

■ 34B-2 神無太郎氏作

安北協力自玉スタイルメイト 14手

9 8 7 6 5 4 3 2 1

										一
										二
										三
										四
										五
										六
								王		七
										八
									王	九

持駒 桂3 香3

■ 34B-3 神無太郎氏作

安南協力自玉スタイルメイト 20手

9 8 7 6 5 4 3 2 1

										一
										二
										三
										四
										五
										六
										七
								王		八
								王		九

持駒 桂2 香2

推理将棋第46回出題

将棋についての会話をヒントに将棋の指し手を復元するパズル、推理将棋の第46回出題です。はじめての方は

どんな将棋だったの? - 推理将棋入門

(http://toybox.tea-nifty.com/memo/2007/05/post_53f2.html) をご覧ください。

解答、感想はメールで2011年7月20日までに TETSU まで (omochabako@nifty.com) メールの題名は「推理将棋第46回解答」でお願いします。

推理将棋第46回出題 担当 DD++

ほとんどの短手数推理将棋は角で攻めて、詰め上がりには馬か、馬でも代用できる角がいる形になる手順になります。そこで今回はそれをテーマにして馬問題特集にしてみました。今月はみなさんじゃじゃ馬に翻弄されてください。

初級は久々の登場けいたんさん。担当がすべき注意書きを代わって説明していただきました(笑)。中級は私の作品です。タラパパさん担当時代に当確をいただいたにもかかわらず使われないまま引継ぎになってしまった1条件問題。そして上級ははなさかしろうさんの、10手にしてはとても難しい、しかし非常に美しい問題です。

いつもより中上級の難度が高いので、1題2題しか解けない方もいらっしゃるかと思います。1題2題解答でも歓迎ですので、解答お待ちしています。

■練習問題

「さっきの将棋、▲76歩△34歩▲22角不成△72銀▲71角△52玉まで見てたけどどうなった?」

「9手で詰んだよ、って言えば残りの3手は分かるよね」

さて、残りの3手はどんな手だったでしょうか。

46-1 初級 けいたんさん作

馬の手は角成の手にあらず 9手

注意書きとしてタイトルをご覧ください(笑)

46-2 中級 DD++ 作

鯨飲馬食 11手

タイトルどおり馬で歩をパクパク食べまくってください。

46-3 上級 はなさかしろうさん作

馬術競技 10手

10手にしてはかなりの難問。ノーヒントで解けたら相当の実力者です。

■中間ヒント (7月10日 DD++)

今回は難問なので締め切り10日前として中間ヒントを出します。

初級: 22に打った角を13に成っても「13馬」になりません。ということはどういうこと?

中級: 歩を取る馬の手5回の内訳は、5、8、9、10、11手目。

上級: 角成は先手と後手が1回ずつですが、先手が成った馬を引く余裕はありません。

締め切り少し前に2回目のヒントを投下予定です。

■締め切り前ヒント (7月16日 DD++)

それでは締め切り前ヒントです。

初級: 41玉の逃げ道を塞ぐには後手金2枚を利用するのが便利です。

中級: 7手目に飛車の妙手炸裂!

上級: 陣外の桂と馬で6筋玉を合い効かずに討ち取りましょう。

46-1 初級 けいたんさん作 馬の手は角成の手にあらず 9手

「さっきの将棋9手で詰んだんだって！

13馬の手には驚いたよ」

「それより22に角を打った手だよ。酔理将棋っていうのかな。だいぶお酒が入ってたみたい」

さて、どんな将棋だったのだろうか？

(条件)

- ・ 9手で詰んだ
- ・ 13馬の手あり
- ・ 22に角打ちあり

※13角成では「13馬の手」になりませんのでご注意ください。

46-2 中級 DD++作 鯨飲馬食 11手

「この11手で詰んだ将棋おもしろいな」

「初期位置のままの歩を馬が5枚も食ったのか」

「鯨飲馬食とはよく言ったものだ」

さて、どんな将棋だったのだろうか？

(条件)

- ・ 11手で詰んだ
- ・ 初期位置のままの歩を取る馬の手が5回あった

※「馬の手」ですので、角成で歩を取ってもカウントには含みません。

46-3 上級 はなさかしろうさん作 馬術競技 10手

「古い棋譜を見つけたよ。バロン西が作ったらしい」

「また適当なことを言って…ほう、10手で詰みか」

「角成が2回あって、馬の手も2手あるんだ」

「でも詰め上がりで敵陣にいる駒は馬が1枚だけ。慎ましいな」

「そうなんだ。馬術競技みたいだろ？」

さて、どんな将棋だったのだろうか？

(条件)

- ・ 10手で詰んだ
- ・ 角成が2回
- ・ 馬の手が2回
- ・ 詰め上がりで敵陣にいる駒は馬1枚だけ

※先手陣にいる後手駒と後手陣にいる先手駒を、駒の種類を問わず「敵陣にいる駒」としてカウントします。最終条件は馬以外の種類の駒はいかなる駒も敵陣にはならないことを含みますのでご注意ください。

■練習問題解答

問題以下、▲31角成△51金左▲53角成まで。この位置から2枚の角の利きを揃えるには当然このライン。また、31か71に馬がいるときには51への逃げ道を金で塞ぐのは常套手段として覚えておきたい一手です。

練習問題も今月のテーマにあわせて2枚馬の問題にしてみました。いやー、7手目も9手目も角成になる問題を作るのに難儀しました(笑)

推理将棋第 45 回 出題

出題日 : 2011 年 6 月 4 日
 解答締切 : 2011 年 6 月 20 日

推理将棋第 45 回解説 担当 DD++

今月はなんと推理将棋の全解答者数が過去最高記録の 25 人を達成しました。皆様本当にありがとうございます。次は 30 人目指してこれからもよろしくお願ひします。また、「今回は簡単だった」という声が多かったので、次回は難しく選題しておきますね（にやり）

4 5・1 初級 渡辺秀行さん作 6 手目の妙手 8 手

「昨日の将棋、たったの 8 手で負けちゃったよ」
 「それは災難だったねえ」
 「初手の平凡な歩突きは悪くないと思うんだ。しかし、6 手目に同角成と 39 の駒を取られたのが敗因だね。うっかりしていたよ」

さて、二人の見た将棋はどういう将棋だったでしょうか？

(条件)

- ・ 8 手で詰んだ
- ・ 初手は歩の着手
- ・ 6 手目は 39 同角成

出題のことば (担当 DD++)

「39 同角成」のたった 5 文字に詰められた情報量の多さに驚いてください。

追加ヒント：

まずは後手の 6 手目までを考え、次に先手の 5 手目までを考えましょう。

推理将棋 4 5・1 解答

▲ 5 六歩 △ 3 四歩 ▲ 3 八銀 △ 6 六角
 ▲ 3 九金 △ 同角成 ▲ 6 八銀 △ 4 八金
 まで 8 手。

詰上り図

9	8	7	6	5	4	3	2	1	
皇	科	馬	金	王	馬	科	皇		一
	飛								二
歩	歩	歩	歩	歩	歩		歩	歩	三
						歩			四
				歩					五
歩	歩	歩	歩		歩	歩	歩	歩	六
	角		銀		馬	銀	飛		七
香	桂		金	王		皇	桂	香	八
									九

持駒 なし

条件は 2 つだけ。初手歩突きはほとんど情報にならないとすると、「6 手目は 39 同角成」だけでほぼ全手順を限定してしまっていることになります。このように、少ない文字数にギュッと情報を詰め込むのが渡辺さん流。

まずは後手側から考えてみましょう。6 手目に 39 角成を指すには、先手に 57 の歩をどけてもらって 34 歩～66 角～39(同)角成しかありません。ではその間に先手がすることは？まず初手は条件どおり 56 歩と突くとして、5 手目に 39 に着手するには 3 手目に 39 の銀をどけなければなりません。48 へあがって放置しては角道の邪魔になりますから、3 手目と 5 手目は「48 銀～39 銀」か「38 銀～39 金」しかありません。

まとめると、「6 手目は 39 同角成」の中には「最初 6 手は、56 歩、34 歩、48 銀、66 角、39 銀、同角成、もしくは 56 歩、34 歩、38 銀、66 角、39 金、同角成、のどちらか」というこれだけの情報量が含まれていたのです！

ここまでわかれば解答はすぐです。可能性は 2 局面ありますが残りはわずか 2 手。しかも銀を戻す順は考えにくいとなれば金の方。練習問題でラスト 3 手問題をやっているのですから、それよりも簡単な問題です。68 銀で逃げ道を塞いで金打ちまで。

長い手数になってくるとなかなかこういった問題は作るのが大変ですが、8 手~9 手程度なら同じようなスマートな問題を作るのはそれほど難しいことはありません。むしろこういう形は人によっては制作の入り口として一番やりやすいという人も多いと思います。普段は解図専門の方も一度こんな問題の制作に手を出してみたいかたがたでしょうか。最初は余詰が不安でしょうが、私も重ねて検討しますので安心して投稿してみてください、お待ちしております。

それではみなさんの短評をどうぞ。

渡辺（作者） 「これは簡単。」

■シンプル問題の作者はコメントもシンプルでした。

チャンプ 「シンプルな条件で無駄の無い手順。初級として相応しい佳作。」

■これぞ渡辺流の真髄です。

○術師 「6 手目 39 同角成条件で、先手の 5 手目は 39 に移動→(初手は歩なので)39 にいる銀を 3 手目に動かす、後手は 4 手目までに 39 に利きを作る、とロジカルにはこうなるんですね。実際には金を取る図がパッと浮かびました。」

■そのとおりです。こうやって理詰めで解きやすい問題は選題者としても安心して使えます。

中村雅哉 「5 手目は 39 金か 39 銀しかない。論理的に追えて入門用に最適」

■なにせ mixi の入門用問題トピックから厳選して拾ってきましたから (笑)

斧間徳子 「客寄せ向きの軽作。」

■とりあえず手を出せますからねえ。

KG 「6 手目 39 同角成、これだけで (1 手目と 3 手目の手順前後を除いて) 6 手目まで決まるんですね。」

■すごい情報圧縮率ですよ。

NAO 「手の見せ方が親切な初級問題。」

■こういう見せ方は渡辺さんとまささんが 2 強でしょう、と個人的には思います。

鈴川優希 「取られた駒が金だと理詰めで判断できるので、考えやすかったです。角『成』とすることで、7 手目が限定されていますね。」

■私が最初出題されたとき、39 同角不成にして 4 筋玉で誤答しそうになったのはナイショ。

はなさかしろう 「なるほど。シンプルによどみなく 6 手目までの手順が確定してしまう。初級ならではの名作というジャンルがあれば代表作に挙がりそうですね。」

■初級ならではの名作、投稿大大大募集中です (笑)

リーグ戦ファン 「6 手目までが簡単に限定できるところがミソ。通常の推理将棋ならば、『▲38 銀』は、その後を考える必要があるところ、DD++さんは『練習問題：さて、残りの 2 手はどんな手だったのでしょうか』を狙って選題されたのですね。まさに狙い通りの秀作だと思います。」

■よくぞここまで見抜いてくださいました。

S.Kimura 「5 手目に 39 に動かすことを考えたら簡単でした。」

■そういう思考に自然に誘導されるのもこの問題のうまみ。

諏訪冬葉 「△39 角成から後手の 3 手は 1 通り。先手は角道を作る ▲56 歩の後銀をどかす必要があるのついでに飛車の利きも止めてもらう。」

左右の銀の動きが違うのが楽しいです。」

■どちらも金頭の銀の形になるのに、右は3筋、左は6筋。不思議です。

タラパパ 「『6手目は39同角成』で、ほぼ2通りの筋に絞られ、1つは銀が戻る順でほぼ論外となれば・・・。」

■銀が戻る方で詰んだらびっくりですからね(笑)

はらたつと 「自力で解いたあと、館長さんの推理将棋の館8手3420通りのページでその他の手を確認しました。」

■あの3420通りは私はとても確認する気力は出ません(汗)

たくぼん 「ヒントでほとんど分かっちゃう～担当者優しいですねえ」

■わかってもらえなければヒントになりませんから。

鈴木康夫 「39同角成から38銀39金は必然なので秒殺でした。」

■ベテランの方には見た瞬間解けるくらいでないと初級になりませんから。

くるぼん 「この初手が指将棋でも平凡になってきたのも不思議」

■初解答ありがとうございます。指将棋で初手56歩は私には理解不能な世界です。

隅の老人B 「何となく簡単に解けました。こんな時は、感想に困る。」

■そして担当者もけっこう返信に困ってます(汗)

占魚亭 「誰もが一度は思いつく手順ですね。」

■担当者はこの系統の手順は苦手で、一度も考えたことがなかったりして(笑)

宮谷保可楽 「たった一言で、角の動き方や駒の渡し方がすべてわかる…。すごい。」

■本当に見事に作られたものですが、実は作家側にとってはここまで秀逸と行かなくても割と作りやすいタイプの問題だったりします。

みや 「推理しやすい問題で、楽しめました。初心者には、うれしい問題でした。ありがとうございます。」

■初心者に楽しめなければ初級じゃありませんから。選題の腕の見せ所です。

superkuppabros 「これは完全な初級問題。▲3九金さえ決まれば全てが分かる。」

■そこまでいけば残り2手ですから練習問題より簡単です。

ティエムガンバ 「『『推理将棋ってこう解くんだよ』の説明に理想的』、『39同角成』のたった5文字に詰められた情報量の多さに驚いてください。』というコメントに偽りなしの作品です。」

■そこを偽ってもしようがないですから(笑)

はてるま 「先手の金銀の動きが本作のポイントですね。39金がいい味です。」

■取られるために動く手は推理将棋ならでは。

正解：25名

S.Kimuraさん 斧間徳子さん くるぼんさん
KGさん superkuppabrosさん
鈴木優希さん 鈴木康夫さん 隅の老人Bさん
諏訪冬葉さん 占魚亭さん たくぼんさん
タラパパさん チャンプさん 躑躅さん
ティエムガンバさん NAOさん
中村雅哉さん はてるまさん
はなさかしろうさん はらたつとさん
○術師さん みやさん 宮谷保可楽さん
リーグ戦ファンさん 渡辺さん

4 5-2 中級 ○術師さん作

一番奥への歩成 2

10 手

「10 手目、敵陣一番奥への歩成まで、と」
 「5 手目の金気が微妙だったかなあ？」
 「不成もあったね」

さて、どんな将棋だったのだろうか？

(条件)

- ・ 10 手で詰んだ
- ・ 10 手目は 9 段目への歩成だった
- ・ 5 手目に金気 (= 金銀) の手を指した
- ・ 不成の手があった

出題のこぼ (担当 DD++)

42 回では 49 歩成まででした。さて今回は何筋でしょうか。

追加ヒント：

先手が 3 手目 33 角不成と飛び込む、後手 3 筋飛攻めの定石手順です。

推理将棋 4 5-2 解答 担当 DD++

- ▲ 7 六歩 ▽ 3 二飛 ▲ 3 三角不成 ▽ 同飛
 ▲ 5 八金右 ▽ 3 七飛成 ▲ 4 九玉 ▽ 3 八歩
 ▲ 5 九金寄 ▽ 3 九歩成 まで 10 手。

詰上り図

9	8	7	6	5	4	3	2	1	
香	桂	銀	金	玉	銀	金	桂	香	一
							馬		二
歩	歩	歩	歩	歩	歩	歩	歩	歩	三
									四
		歩							五
歩	歩		歩	歩	歩	馬	歩	歩	七
				金			飛		八
香	桂	銀		金	玉	馬	桂	香	九

持駒 歩

3 段目の歩がテクテク進んでいては 10 手で届かないので、9 段目に歩が成るためには次の要件が求められます。

- (1) 後手が打ちたい筋の歩を先手に取らせる
- (2) 後手もどこかで歩を取る
- (3) 先手に取ってもらった筋の 8 段目に歩を打つ
- (4) 打った歩を成る
- (5) 成った歩 (と金) に自分の他の駒を利かせる

そのためには、後手は飛車か角を活用しつつ (9 段目に利きを作れる駒。香は無理) 6 手目までに歩を取り、7 手目までに先手に歩を取らせることが必須。

これを実現するのに絵に描いたような定跡手順があります。推理将棋に頻繁に現れる美味しい手筋です。

と、ここまで 42-2 の解説 (by タラパパさん) から一字一句コピーしてみました。姉妹局ですから考え方も似ているのは当然ですよ。ところが今回はここからが違います。42-2 では後手 4 筋飛を使う攻めでしたが、実は美味しい手筋はもうひとつあるのです。それがこの 4 手目までと 6 手目の後手 3 筋飛の攻めの定石手順。42-2 とあわせて後手の飛攻め手順として覚えておきたい立ち上がりです。

収束は 3 筋突破した以上当然 39 歩成まで。となれば玉を 49 に寄り、58 と 59 を金で埋める形が玉方の受けの形になるのが自然でしょう。5 手目の「5 八金右」と 9 手目の「5 九金寄」の棋譜を補助記号まで正確に書くのが、実はこの問題の最大の難所だったかもしれません(笑)

それではみなさんの短評をどうぞ。

○術師 (作者) 「採用三度目の余詰はぜひ避けたいところですが、そちらで記録を狙うのも一興？というのとはともかく、前作とツインで作った記憶があります。こちらは飛車を成るのが必須なので、前作は不成にしたような気がします。」

■そんな記録狙わないでください(笑)。しかし、

せっかくツインで作られた作品、なんでタラパさんはツインで使わなかったんでしょうねえ。

チャンプ 「一目、後手の角が軸になるだろうと思わせる条件。蓋を開けたら予想を裏切る手順で面白いと思います。」

■歩に2手使うなら出陣の早い角の方が、というわけですね。

中村雅哉 「歩を使うパターンとしては32飛や42飛の筋が常道。知っていれば簡単。」

■この手順はひとつの手筋ですからねえ。

斧間徳子 「これも簡単でした。」

■手筋物は知ってる人には簡単。

KG 「今回は3筋ですね。」

■後手飛攻めは3筋か4筋以外は難しいですからねえ。

NAO 「前作のイメージが残っており第一感では4筋突破。見事に外れました。」

■2回続けて4筋突破だったら選題していませんって(笑)

鈴川優希 「前作の手順を一路ずらした感じ。角の大移動がないため、こちらのほうが地味？」

■地味と取るか、基礎的で易しいと取るか、どっちともとれますね。

はなさかしろう 「これは力業。『金気』とはなかなか意地悪な表記ですが、9段目の歩成まで、と言われると49か69を狙いたくるところをこの条件で不可能にしているんですね。」

■49歩成までにするには、5手目に角移動が必須ですからね。

渡辺 「9段目で歩の成る10手はそれほど多くなく、その一つの形として『3筋で3種類の駒が成った(記憶あやふや)』と言うような1条件を思い出しました。」

■まささん作ですね。その条件では余詰めがあったらしく、1条件の別の形で修正されています。どう修正されたか気になる方は mixi へいらっしゃいませ。

リーグ戦ファン 「一番奥への歩成で、3筋はガチガチの本線でしょう。別の筋の解が殆ど同時に脳裏に浮かび、ちょうど42回の問題を見ていなかったもので、42回の出題は最初がこういう条件でこういう修正があったのかな、と予想して、かなり楽しめました。」

■その予想、あたっていました？

S.Kimura 「前は飛車だったから、今回は角だろうと山をはったため、上級よりも時間がかかりました。しかし、57角から39歩成も考えていたので、この読みは役に立ちました。」

■角ではなく隣筋の飛車でした。山が外れると時間かかりますよね。

諏訪冬葉 「角が攻め込むのは無理っぽいので飛車の利用を考えました。」

■そのとおりでした。お見事。

タラパパ 「4筋の次の候補は3筋が妥当なところ。」

■この2つの筋以外だと10手では不可能ですね。12手になると可能な筋がもういくつか増えますが。

はらたつと 「5手目金銀で角が2回動けないので3筋はすぐわかりましたが不成ありを勘違い。37飛生だと詰まないなあ……って。(笑)追加ヒントで3筋が確定し勘違いに気がつき一件落着」

■「不成りがあった」は先手でも後手でもよいというのは推理将棋の基本なのに、よもやはらたつとさんがそれを忘れるとは。

たくぼん 「まさに本命中の本命。5手目金気条件はどんな余詰防止？」

■42-2 そのものやそれ系の手順防止です。具体的には「76歩、44歩、同角、42飛、53角不成、47飛成、68飛、48歩、待ち手、49歩成」など。この手順は5手目角が必須なので。

鈴木康夫 「先手の歩を切らすための最初の3手に気付いてからはあつと言う間でした。」

■手筋物とはいえ中級を瞬殺とはやりますね。

くるぼん 「ヒントでようやく解けました。」

■手筋物は知らないと不利な部分がありますが、初解答で正解とはお見事！

隅の老人B 「たったの3行、一字一句に無駄が無い。詰棋なら簡素図式でしょうね。」

■各条件がシンプルに、うまく作られたものです。

占魚亭 「金がナイスアシスト。」

■49や69の玉を詰める時には58金59金の布陣が便利です。

宮谷保可楽 「3筋でしたか。これで4筋だったらスゴいかも。」

■5手目金気条件をはずせば4筋でもいけます。というかそれがまさに42-2なわけですが(笑)

みや 「悩んでましたが追加ヒントで解くことが出来ました。前回は4筋だったので今回は3筋か7筋かな・・・と予想はしていました。わざわざ寄っていく玉、退路封鎖の金寄が推理将棋らしいですね。」

■指将棋基準で悪手であればあるほど推理将棋では好手になります(笑)

superkuppabros 「最初▲4四角から歩を取って、4筋で攻め切る手を考えたのですが、どうしても12手になり・・・ヒントで何とかわかりました。」

■5手目に角が指せないとどうしても4筋は12手かかりますね。後手飛攻め手順は3筋と4

筋をうまく使い分けるのがポイント。

テイエムガンバ 「6筋か5筋だろうと考えたのですが、どうしても5手目の金気という条件に合わず。『3手目33角不成』で3筋に飛を通すという定石がわからないと難しいです。」

■推理将棋のかなーり基礎の定石なので、4筋に飛を通す定石(42-2参照)とあわせて今後はぜひ覚えておいていただけるとよろしいかと。

はてるま 「この条件なら3筋か4筋をオープンにする筋は第一感。当たりでした。」

■お見事な直感です。

正解：25名

S.Kimuraさん 斧間徳子さん くるぼんさん
KGさん superkuppabrosさん
鈴木優希さん 鈴木康夫さん 隅の老人Bさん
諏訪冬葉さん 占魚亭さん たくぼんさん
タラパパさん チャンプさん 躑躅さん
テイエムガンバさん NAOさん
中村雅哉さん はてるまさん
はなさかしろうさん はらたつとさん
○術師さん みやさん 宮谷保可楽さん
リーグ戦ファンさん 渡辺さん

45-3 上級 チャンプさん作
駒柱詰 13手

少年A「13手で勝ったけど素直に喜べないよなー。」

少年B「どうしたの？」

少年A「六段目の香打ちで駒柱が完成して詰みだったんだよね。」

少年B「不吉だねー。」

さて、どんな将棋だったのだろうか？

(条件)

・13手で詰み

・13手目に六段目の香打ちで駒柱が完成

出題のことば (担当 DD++)

香を取りに行く角筋と玉の移動経路が衝突。
解消方法は？

追加ヒント：

玉が五段目へ行くのを馬が阻害しないように
11馬への経路を一工夫。

推理将棋 4 5 - 3 解答 担当 DD++

- ▲ 7 六歩 ▽ 3 四歩 ▲ 2 二角成 ▽ 4 二玉
- ▲ 1 二馬 ▽ 3 三玉 ▲ 1 一馬 ▽ 2 四玉
- ▲ 2 二馬 ▽ 2 五玉 ▲ 2 四角 ▽ 1 四歩
- ▲ 2 六香 まで 13 手。

詰上り図

	9	8	7	6	5	4	3	2	1	
一	香	桂	銀	金		王	金	銀	桂	
二		馬						馬		
三	歩	歩	歩	歩	歩	歩	歩	歩		
四							角	歩		
五							玉			
六			歩				香			
七	歩	歩		歩	歩	歩	歩	歩	歩	
八							飛			
九	香	桂	銀	金	王	金	銀	桂	香	

持駒 なし

推理将棋を解く時、おそらくほとんどの方がまず「とりあえずそれっぽい感じに駒を動かしてみる」事をするでしょう。そして、条件から明らかに後手玉は五段目まで上がり、先手は香をとることが必要と考えると、「76歩、34歩、22角成、42玉、11馬、33玉……ってできないじゃん……」。そう、この衝突をどう回避するかがこの問題の最大の謎。逆に言えばここさえひらめいてしまえば、13手と言えど実はそんなに難しく無い問題なのです。

これをどうにかするために一から考えて見ましょう。まず駒柱を作る筋ですが、八段目にもともと先手飛車がいる2筋が明らかに有利ですから、ここを決め打ちして考えてみましょう。とすると終局時は25玉、その周りを全て塞いでおかなければなりません、問題は34と14。

いろいろ駒を動かしてみると、先手にとって四段目の逃げ道というのは非常に封鎖しづらいことに気づくかと思います。そこでこの2箇所は後手歩で逃げ道塞ぎをすることにしましょう。すると、後手は玉で4手、歩で2手で手を使い切ってしまうではありませんか。となればこの33での交錯を後手玉が待つ余裕はなく、先手馬が譲歩するしかありません。

「76歩、34歩、22角成、42玉」とすすんだところで、一手損しつつも12馬と横にびよんと動きます。これで先手馬の33への利きは消え、6手目に晴れて33玉と進むことができ、7手目11馬以降手が続きます。そう、香取りは実は全く急ぐ必要はなかったのです。ここまで気づける方ならあとは五段目の逃げ道は24角で塞ぎ、26香で串刺しに紐をつける収束まで一本道だったのではないのでしょうか。

ところで、単に「駒柱ができると同時に詰んだ」場合の最短って何手で、何パターンくらいあるんでしょうね。なんてことを考えるとそれもまた問題の題材になったりします。ですので、どなたかが作問してくださることを期待して、ここでは何手が最短かは書かないことにしておきます。興味のある方は研究してみてください。

それではみなさんの短評をどうぞ。

チャンプ (作者) 「この作者の作品は難問が多いですが、これは易しいですね (笑)」

■チャンプさんは難作家なのでおもちゃ箱で使える問題を探すのが大変です。といいつつも、いずれチャンプさん特集を考えている私。

○術師 「最初はこんな条件で角の動きが一意になるのか？と思いましたが、手順を尽くした動きをしている内に一意なんだと分かりました。駒柱の条件が、玉の動きと駒取りを同時に制約しているのがうまいです。13手の長さを

感じさせませんでした。」

■私も最初問題を見たときに同じ事を思いました。うまく作られたものです。

中村雅哉 「この条件でよく手順前後や成生非限定を回避できたもの。1条件の収穫。」

■1条件問題は幸運にも恵まれないとなかなか作れません。

斧間徳子 「22角成～12馬～11馬～22馬は白眉の手順！特に12馬の味が絶妙。わずか1条件でこの手順が決まるとは奇跡的。文句なしの傑作。」

■13手1条件はめったにできるものではありません。ましてこんな好手順なものとなるとなおさら。

KG 「24玉が遅れると24に角を打てないので、後手の手はほぼ限定されます。香を慌てて取る必要は無いですね。」

■その「香を慌てて取る必要は無い」ことについて気づけるかがポイントでした。

NAO 「まさにドツボの一局です。5手目12馬も指しにくい、7手目の平凡な22馬がなかなか見えず。てっきり22には後手が着手すると思いきや苦戦しました。」

■NAOさんが苦戦するとは、人によってはドツボという私の読みは当たってましたか。

鈴川優希 「意味もなくちょこまかと動く馬がかわいいです。1条件でこの全てが限定されているのは素晴らしいと思います。」

■このちょこまかした動きが自然限定されているのは奇跡的。

はなさかしろう 「これはまた面白い一条件ものが来ましたね！裏推理が効きやすい分手掛かりには事欠きませんが、非効率なくせにこれしかない先手馬の動きが素晴らしく、一転24角～26香もぴったりの収束で楽しく解けました。」

■中～長編1条件物はその条件がユニークなものが多いです。今後も面白い1条件物に期待してください。

渡辺 「第一感の76歩、34歩、22角成、42玉、12馬、33玉、11馬、24玉、18飛、15玉、14角、12飛、16香であれ、詰まないなあ。でとりあえず2、3日寝かしたら隣の筋で行けることに気がきました。馬の動きが無駄のようでこれしかない、というのが面白い。」

■なるほど、1筋を考えましたか。次点候補としては有力筋です。馬の動きがこれで自然限定なのは本当に面白いですね。

リーグ戦ファン 「▲12馬として▽33玉を空けるのは、なんとも可愛いですね。古の98時代の整理系ゲーム（倉庫番とかフラッピーとか）を思い出すパズルでした。」

■言われてみれば確かに倉庫番系パズルに通じる動き。

S.Kimura 「最初に8段目を埋める必要がない2筋に焦点を絞りました。このため、24角打もすぐに気付き、玉を通過させる12馬も見つけることができたので、意外と簡単に解けました。」

■勘が冴えていらっしゃる。

諏訪冬葉 「後手は5段目に出るまでで4手、斜め後ろをつぶすのに2手。先手は角と香車を取って4段目と6段目に打つ。ここまで分かってから長考。

・・・白状します。3手目の角の成不成を確定させる方法を考えました。」

■それも解を見つける一つの立派な方法（通称：裏読み）です。しかし、それを使うと面白くなる場合もあるので、使うかどうかは本人の判断でどうぞ。

タラパパ 「方針は立て易いのですが、12馬と寄る手がどうしても一手休み風で、指しにくい手でした。1条件は素晴らしい！」

■指しにくいのもそうですが、これが自然限定というのにもびっくりですね。

はらたつ 「mixi で先に解いたので詰め上がり形覚えてました。条件から想像できない 12 馬の限定が素晴らしい」

■mixi 常連組はおもちゃ箱でもパラでも「あれ、この問題見たことあるぞ」に時々出くわします（笑）

たくぼん 「6 段目の香打ちという大ヒントが無ければもっと苦しんだらう。余詰に感謝？」

■本当に「六段目」追加で一気に易しくなりました。それでも上級ですが。(担当注:実は mixi での出題時は単に「13 手目に香打ちで駒柱が完成」だったのですが、それに余詰があり「六段目」が追加されたという経緯があります。)

鈴木康夫 「どうして角の成生が限定されるのか不思議でした。あんな経路が必要とは。」

■問題を見た瞬間 12 馬が見えた人は相当の実力者でしょう。

隅の老人 B 「駒柱が完成、お茶でも飲もう。湯飲みの中に今度は茶柱、縁起が良いね、これで帳消し。」

■"13"手目の不吉さも何かで帳消しにしないと（笑）

占魚亭 「1 一馬に 2 二銀として、少し時間がかかりました。」

■玉上がりと香取りの順序を間違えるとこうなります。

宮谷保可楽 「添えられたヒントが大きかった。12 馬で 33 への効きを外して。」

■ヒントはなるべく答え数歩前まで一気に迫れるものを心がけています。

superkuppabros 「この筋に気付けば一本道。▲ 2 四角が面白いですが。8 筋・3 筋と考えましたが、いずれも逃げ道を塞げず。」

■気づけば一本道な問題ほど、気づかないと泥沼なんですよえ。

テイエムガンバ 「2 筋に駒柱を完成させるということと▲ 2 四角で 1 五と 3 五をふさぎ、▲ 2 六香で詰めるという考え方はすぐ思いついたのですが、1 四をふさぐ手と▽ 3 三玉を成立させる馬の動き方が最後までわからず。それにしても、▽ 1 四歩に気づくまでこんな時間がかかるとは……。」

■この 14 歩のような小技は一度盲点に入ってしまうとなかなか抜け出せなかったり。

はてるま 「13 手で 1 条件は貴重ですねー。先手の 8 段目に手をかけたくないので 2 筋と推理し正解でした。12 馬が地味ながらい手ですね。」

■普通の将棋なら超疑問手ですけどね（笑）

正解：23 名

S.Kimura さん 斧間徳子さん KG さん
superkuppabros さん 鈴木康夫さん 隅の老人 B さん 諏訪冬葉さん
占魚亭さん たくぼんさん タラパパさん
チャンプさん 躑躅さん テイエムガンバさん
NAO さん 中村雅哉さん はてるまさん
はなさかしろうさん はらたつとさん
○術師さん 宮谷保可楽さん
リーグ戦ファンさん 渡辺さん

総評

○術師 「作るのは若干？好きでも、解くのは苦手(だから余詰マシーン)な私が、珍しく出題初日に全部解けたので喜んでかなり久々に解答を送ってみます。初級も上級も少しの言葉に多くの条件が込められている好作で解きやすかったです。」

■○術師さんの作品在庫にはお世話になっています。今後も作品投稿お待ちしておりますね。解

答の方もぜひ1題2題だけの解答でもよろしくおねがいします。

中村雅哉 「今月は方針が立てやすい問題が多くとつき易かったです。この調子でお願いします。」

■来月1度難問月をはさんだ後また戻そうかなと思います。なにせ簡単な問題ばかり使っていると在庫が偏ってしまって、いずれ「今月は全部上級です」になりかねないので(汗)

KG 「前は全部自作問題ということで解答しなかったのですが、前々回から2カ月ぶりの解答となります。今回は難易度的には易しめだったでしょうか。今後も暇があれば解答していきたいと思っています。」

■全部自作問題でもおもちゃ箱ではコメント載せるためにみんな解答しますけどね(笑)もう特集ということはないと思いますが、今後も解答お待ちしております。

鈴川優希 「今回は、45-3番にやや苦戦してしまいました。解けた時の達成感は大きいですね。次回も解答したいなと思っています。」

■13手となると長い分難しくもなりますからね。次回は少し難しい問題の予定ですが、1題2題だけの解答でもかまいませんのでお待ちしておりますね。

はなさかしろう 「今月の解答はみなさん早くて出足上々のようですので便乗します～」

■上級がサッと解けた方が多かったようで。来月は難問入りなので出足の鈍りが心配です。はなさかしろうさんの速攻解答先陣に期待。

渡辺 「今回は上級で感が当って運良く早く解答できました。」

■次回も早い解答をお願いしますね。次回の上級は渡辺さんはすぐ答えが分かるはずなので。

リーグ戦ファン 「今回はアラカルト出題とのことでしたが、共通テーマがなんとなく判りませぬ。易しく優しい佳品、というところですかね。

選者によって特徴が出るものです。」

■言われてみればたしかにその点3問とも共通していますね。

諏訪冬葉 「珍しく追加ヒントなしで解けました。」

■お見事です。次回は難問なのでヒント使いまくってください(笑)

タラパパ 「3問とも方針のたて易いところに好感。」

■タラパパさんが方針の立てやすい問題を量産して下さいと聞いて。

隅の老人B 「6月下旬、連日の雨。これでは日課の散歩もできず。こんな時には、「おもちゃ箱」の推理将棋を考えよう。解けるもよし、解けずともまたよし、暇が潰れればそれでよい。貧乏自適、これもまた好日。」

■相変わらず隅の老人Bさんは詩人です。

superkuppabros 「今回は比較的簡単だったように思います。45-3の1条件問題は斬新で面白かったです。」

■次回は手ごたえのある問題を用意しておきますのでそちらもぜひ。1条件問題もありますよー。

推理将棋第45回出題全解答者： 25名

S.Kimura さん 斧間徳子さん くるぼんさん
KG さん superkuppabros さん 鈴川優希さん
鈴木康夫さん 隅の老人Bさん 諏訪冬葉さん
占魚亭さん たくぼんさん タラパパさん
チャンプさん 躑躅さん テイエムガンバさん
NAOさん 中村雅哉さん はてるまさん
はなさかしろうさん はらたっとさん
○術師さん みやさん 宮谷保可楽さん リーグ戦ファンさん 渡辺さん

当選： KG さん おめでとうございます。

第27回詰将棋全国大会の 部分的なレポート 神無七郎

今年の詰将棋全国大会は高槻での開催。私は昨年秋に川口から高槻に戻ったため、偶然にも地元での全国大会となりました。



これが高槻の市役所。会場へ向かう途中で撮影したものです。大会当日の7月17日は今年一番の暑さ。まだ9時過ぎだというのに、汗が止まりません。



こちらは市役所の隣の「総合センター」。懇親会の会場です。15階には展望レストランがあり、高槻の街を眼下に眺めながら食事をすることができます。



これは高槻駅の南側から撮った写真。中央に写っているのが大会会場となる「総合市民交流センター」です。私は地元民なのに、ここを利用するのは初めてです。



私が到着したのは9時半くらいだったでしょうか。11時から書籍販売開始ということで、もうすでに設営は始まっていました。

「新約・神詔大全」を販売するのが、この日の私のミッション。中央がチャリティー関係の掘り出し物的な書籍が並べられていますが、その隣に置かせて貰いました。(場所が足りなくなったので、後で少し端に移動することになりましたが。)



11時までにはまだ時間がありましたが、準備が終わったので販売を開始。最初の購入者は角建逸氏でした。

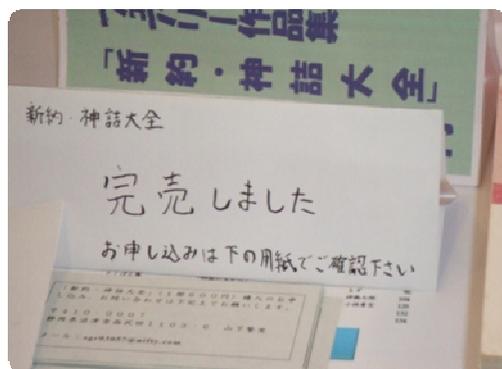


その後も販売は順調でした。TETSUさんは「余ったら私が全部引き取るよ」なんて仰ってくれていましたが、むしろ持ち込んだ数が足りなかったことが徐々に明らかになってきました。特典の「ミクロコスモスの世界」は先着分だけにして、「新約・神話大全」自体はもっと多く用意するべきでした。



高槻ゆかりのプロ棋士と言えば浦野真彦7段。ということで、半ば強引に記念撮影をして貰いました。向かって左に写っている横幅の広いのが私です。(高槻に戻ってから太ってしまいました。)手に持っているのはもちろん「新約・神話

大全」。



そうして正式な書籍販売が始まる11時を前にして売り切れ状態に。時間通りに買いに来た皆さん、ごめんなさい！一応、申し込み方法を記した紙は置いておいたのですが…

とりあえずこれでミッションは終わったので、ここからは一般参加者にモードチェンジ。いろいろな催し物をゆっくりと楽しませて貰いました。本大会と懇親会は他の方のレポートで報告されるでしょうから（TETSUさんの全国大会レポートはライブ感があって良いですね）、省略気味に進めましょう。



全国大会のメインイベント、看寿賞表彰。「シンメトリー」で看寿賞受賞の井上徹也さんの写真です。井上さんには「いのてつ」の名義で Onsite Fairy Mate にも何度か解答を戴きました。フェアリーでの活躍も期待しています。

そして添川公司さんは相変わらず授賞式を欠

席。解答成績優秀者への賞である七條賞の受賞者の皆さんも全員欠席でした。たまたま都合が悪いだけという場合もあるのですが、詰棋人には人前に出たがらない人が多いのでしょうか。

そうそう、たくぼんさんの七條賞コメントはちゃんと読み上げられました。ご安心を。



大会十回参加者表彰でユーモア溢れるトークを聞かせてくれたのが佐藤司さん。「谷川先生とは誕生日が同じなのに…（以下負けている点が並ぶ）…一つだけ上回ったのがこのメダル」には爆笑。佐藤さんは「神無一族の氾濫」にもよく解答をくださっているのです、そちらでも谷川先生に勝ったと自慢できますよ。



こちらはNAOさん。（WFPなのでこちらの名義で紹介します。）第34回WFP作品展はスタイルメイト特集なので、ぜひご解答をください！

また、写真をお願いするのは忘れてのですが、久々に上田吉一さんとお会いし、(詰将棋ではなく)音楽の話をしました。最近聴いた中でのお勧めを教えて貰ったので、ここにメモしておきます。

上田吉一氏のお勧め！

ルエダ：シンフォニア第3番「ルース」／架空の旅（アストゥーリアス響／バルデス）
RUEDA, J.: Sinfonia No. 3, "Luz" / Imaginary Journey (Asturias Symphony, Valdes)

カリニコフ：交響曲第1番, 第2番
KALINNIKOV: Symphonies Nos. 1 and 2 (Ukraine National Symphony Orchestra /Theodore Kuchar)

アミーロフ：管弦楽作品集（ロシア・フィル／ヤブロンスキー）
AMIROV, F.: Shur / Kyurdi Ovshari / Gyulistan Bayati Shiraz / Azerbaijan Capriccio (Russian Philharmonic, Yablonsky)

上田さんが特に激賞されていたのが、ルエダの作品。21世紀の曲の中で初めて「これだ！」と思うものに出会ったと、熱く語っておられました。これはぜひともCDを入手しなければいけませんね。

その後、私は第2部の「お楽しみ企画」まで参加し、午後4時の休憩の時間が来たところで引き揚げました。

ちなみに、お楽しみ企画の「ミニ解答選手権」では私の成績は14点。自分ではまあまあ成績だと思ったのですが、最高点は井上さんの25点。凄すぎですね。また、「クイズ約100人に聞きました」では私の成績は4点。きっとこの辺が平均値なのでしょう。7点以上取れた人は強運を活かして宝くじを買った方が良いかもしれません。

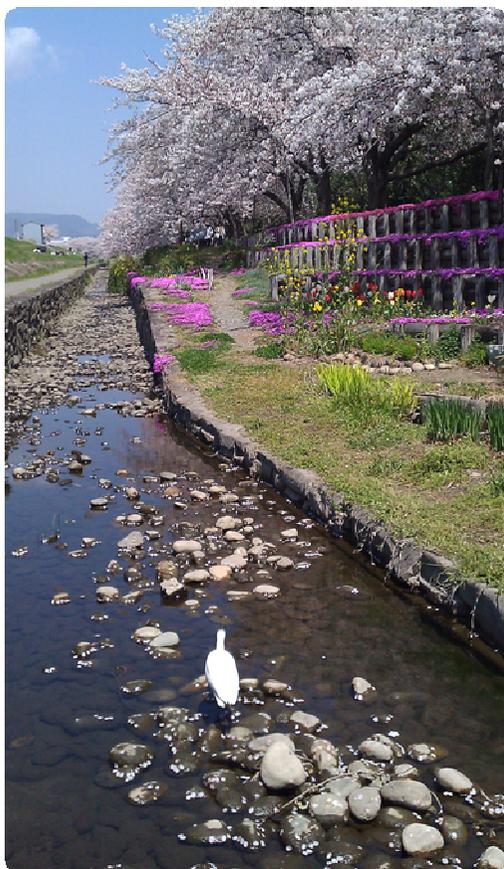
当日は浦野7段出題の特別懸賞出題もありました。私は多分正解できたと思うのですが、結果発表の前に失礼してしまったので、どうなったか知りません。TETSUさんのレポートでは当選者に「橋本」の名がいましたが、橋本姓の参加者は4人もいたので、ハズレに掛けた方が確率は高そうです。

今回改めて思ったのですが、やはり全国大会は凄いですね。100人もの詰棋人が集まると、個々人が特に意識なくとも、何か得体のしれない独特のパワーが生じて、圧倒される感じが

あります。(最近「会合」と名の付くものに参加していなかったのも、余計にそう感じるのかもしれない。) 全国大会では「四百人一局集」「小さな絵」などの書籍も入手したので、これからしばらくは全国大会の余韻と詰棋本の影響で、詰将棋による脳のオーバーヒート状態が続きます。

おまけ：高槻の風景

全国大会の配布物には高槻の観光案内が同封されていましたが、せっかくなので地元ならではの風景も紹介しましょう。



これは芥川のすぐ横を流れる「新川」という準用河川です。昔は無粋な「水路」に過ぎなかったのですが、最近は本当に綺麗になりました。川沿いに地元自治会の人たちが様々な花を植え、ホテルの保護活動も行われています。桜が植えられた並木道は良い散歩コースで、春にはお花見スポットとして賑わいます。



芥川もずいぶん変わりました。私が学生だった頃は、名前の通り塵や芥が浮かんでいる小汚い川というイメージがあったのですが、NPOを中心に定期的に河川敷の清掃が行われ、環境がとても良くなりました。川沿いの土手を散策すると、様々な鳥が心を和ませてくれます。下はマガモのつがいでしょうか。



左の新川の写真にも白いサギ（ダイサギ）が写っていますが、このサギは新川と芥川を行ったり来たりしています。それに川の主役は鳥だけではありません。中にはこんな珍客も…



写真では見づらいかもしれませんが、悠々と泳いでいるのはヌートリアです。外来種ですが、もう完全に馴染んでしまっています。人が近付いても慌てて逃げたりしません。

ところで下の写真、何が写っているかわかりますか？



棒状のものが5本立っていますが、これはおそらく可動堰の上部でしょう。その棒の上に、一羽ずつカモメが乗っているのです。



これだけなら、いかにものんびりした平和な風景なのですが…



新たに一羽がやってきて席の争いが起きてしまいました。鳥の世界も世知辛いものですね。

新約・神話大全（書籍版）のご紹介

全国大会でも売切れた「新約・神話大全」の書籍版の購入方法はこちら。



申し込みの流れ

「新約・神話大全」入手ご希望の方は下記手順でお申し込みください。

- 申込者 → 神無太郎 ・ 「新約・神話大全」購入申し込み（eメール：sgr03057@nifty.com）
*郵便番号、住所、氏名、部数、eメールアドレスを明記願います。
- 申込者 ← 神無太郎 ・ 「新約・神話大全」
「新約・神話大全」（メール便/ゆうメール/ゆうパック）+送金口座情報（eメール）
- 申込者 → 神無太郎 ・ 代金送金

※ 送金手数料は申込者でご負担下さい。

※ 領収書は発行しませんのでご了承ください。

解答募集締切一覧

ネットでのフェアリー詰将棋の解答募集締切一覧です。締切日が早いもの順です。解答先は各々異なりますのでお間違えにないように。

7月31日(日)

JIGSAW BOX #6

普通詰将棋 2題、フェアリー詰将棋 3題

8月15日(日)

第34回 WFP 作品展

投稿募集

投稿締切延期のお知らせ

F O F #28 の作品締切を、8月15日(月)まで延期します。

よって、掲載は次回のWFPになりますので、ご了承ください。

作品(協力詰)課題は「最終手=桂」です。下記アドレスまでメールにてご投稿ください。よろしくお祈いします。

(宛先) sakai8kyuu@hotmail.com

第11回詰四会フェアリー作品展

課題：大駒4枚使用(フェアリーでは5枚以上も可。また初形に無くても可)ルール、手数は問いません。

投稿締切：平成23年8月6日(土)

(投稿先)

→たくぼん (takuji@dokidoki.ne.jp)

【あとがき】

今月はいろいろな話題があった中、やはり一番の出来事はなでしこ JAPAN の世界一でしょう。私は残念ながら昼の肉体労働の疲れで寝てしまい。LIVE で観戦できませんでしたが本当に素晴らしい出来事でした。なでしこ JAPAN は日本を立つ前に合宿していたのが私の住んでいる愛媛県新居浜市でした。こんなことなら合宿を見に行くんだったと今更思っても時既に遅し。確かに予選リーグの時にはまだ日本でもそんなに取り上げていませんでしたしね。ドイツに勝ったくらいから注目度がアップしたので最終合宿時に注目していなくても当然かあ。

そういえば「なでしこ」って最近見かけなくなりましたね。確か今の季節に花が咲くと思いますがこれも時代でしょうか



ネットで写真を探したらありました。そうそうこんな花びらがぎざぎざでした。でも「大和なでしこ」の由来って何なんだろう？ちょっと調べてみたくなりました。

たくぼん

2011年 第37号

Web Fairy Paradise

非売品

平成二十三年七月号

平成二十三年七月廿日発行

発行所 愛媛県新居浜市

発行兼編集人 須川卓二

発行所 Web Fairy Paradise 編集部

問合先

須川卓二 takuji@dokidoki.ne.jp